


「食育月間」の取組実績

| | |
|---|---|
| 事例タイトル ご飯の量を量って、自分でおにぎり作って食べてみよう！ | 実施主体： 一関市立松川保育園 連携機関： |
| 目 的 | 自分が食べるご飯の量を数値化し食べる量に関心をもたせる。またそのご飯でおにぎりを自分で作り食べることの楽しみを膨らませる。 |
| 対 象 | 対象；年長児 参加人数； 13 人 |
| 場 所 | 松川保育園 つき組保育室 |
| 活動内容 | <ol style="list-style-type: none"> ①調理員さんが年長児の保育室を訪問し、量りを使って一人ひとりのご飯の量を量る。 ②ラップに乗せ量ったご飯をそのまま自分でおにぎりを作る。海苔でまいて完成。 ③給食でいただく。  |
| 成 果 | <ol style="list-style-type: none"> ①お弁当に詰めてくるご飯に重さや違いがあることに気付く。 ②形を意識したり自分なりに工夫したりしながら、おにぎりを作り出来上がると食べることをいつも以上に楽しみにする。 ③各自、自分で作ったおにぎりを友達と一緒に楽しんで食べることができる。 |
| 課題及び今後の展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・海苔を巻く前段階で、皆が作ったおにぎりを並べて見学することで、量や形などの比較が分かりやすく良かったのではないかな。 ・食べ物の量ということに別な機会でも触れさせていきたい。 ・おにぎりを自分で作りたべることで、いつもと違った給食の環境ができ、食事に活気が生まれた。また、このような機会を提供していきたい。 |